



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 11月27日(金) 「遭難を考える」講演会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



今夏も賑わったアルプスの山々

PHOTO 中平等新一

平成27年度気象遭難対策講習会

山岳遭難防止の基礎と応用
 噴火事例でシミュレーション机上訓練

気象遭難対策講習会が、7月18日(土)午後1時から5時まで県スポーツ会館で行なわれた。講師にウエザーフロンティア東海・気象予報士・大矢康裕氏を迎え24人が受講した。

はじめに高橋優副会長が挨拶をし、岩瀬幹生副理事長が進行役を務め開講した。

第1部は基礎編として①山岳気象の基礎(雲と観天望気山岳気象の3要素(上昇気流・水蒸気量・大気の安定度)・高度と気温、風の関係、低気圧高気圧、前線。②天気図の見方(地上天気図の見方と代表的な天気図、高層天気図の紹介)③気象情報の活用(気象庁HP情報、その他の役に立つ気象情報)特に観天望気では雲の種類を覚え、天気にもまつわる諺も参考にす。また、高気圧、低気圧による前線と雲の関係、代表的な天気図による解説で天気の変化を知る。

第2部の応用編では、①過去の遭難事例の解説で、20

09年のトムラウシ山の遭難事故、2013年の白馬岳の雪崩事故について、天気図をもとに事故に至る経緯を解説②遭難時の行動シミュレーションでは、事故に遭った時にどうするかを考える訓練をすることは、いざという時に慌てないために大事なことである。

今回は想定事例として、富士宮ルート(9合目付近)を5人で登山中にスマホで噴火警報を受信した。

状況は、後方の宝永山の方向から噴煙が見える。・弱い南風が吹いている。・天気は良いが朝から入道雲が湧いている。・メンバーの中で1人が高山病の兆候がある。・付近に登っている登山者はかなり多い。

以上の状況下でいかに避難するか、3班に分かれ検討し発表した。

最後に、遭難事故を他人事と思わずに自分事(自分ならどう対処するか)として考えることが、防災の第一歩と思



「大矢講師からの感想」
 問題意識を持って参加しているはずの方でも下調べを毎回実施しない、計画書も作成しないことがある、山行中も自分で読図や気象予測をしないという回答内容にはかなりの衝撃を受けた。このような講習会に参加しないような一般の方は、もっと大変な実態になっているのではと想像すると恐ろしい。気象以前に

います。気象遭難(天)と言われている遭難事故も、地(地形)、人(判断力)、山行技術、体力)など必ず天・地・人の要因が入っています。日頃から事故に遭わないように意識して登山を楽しんでください。と結んで講義は終了した。

愛知県高等学校夏期大会 男女共豊川高校が優勝

した。

8月17日〜19日に愛知県民の森にて夏期登山大会が開催されました。男子24チーム女子5チームの参加総数は137名と、数年多くの参加者があり賑わいを見せています。

今年、初日が荒天となり、公共交通手段が運行見合わせになり定刻集合や行動が制限され、予定通りに進みませんでした。

2日目は、前日の雨により沢の水量が多く危険であると判断し、予定の沢登りを中止。代わりに初日のカリキュラムの講習内容である、読図、天気図、救急法、植生、ロープワークを実施した。どの知識も充実したものと見受けられたので、今後の登山行動に生かしてほしいと思いま

もっとやることがあるのではと感じました。読図や計画書作成などの内容も講習会の講義の中に入れてもいいのではと思います。

今回の講習会は、山行レベルも様々な方があり無難な内容だったと思いますが、高層天気図も上空寒気の話だけでなく、もう少し多岐に紹介してもいいかもしれません。次回への課題です。

日本山岳協会自然保護委員総会

講演と各県の活動報告

自然保護委員長 鈴木行薫

去る9月12日から13日の2日間、第39回日本山岳協会自然保護委員総会が、福島県・磐梯青少年交流の家で開催されました。

全国26都道府県から113名の参加があり、盛況な会議でした。本会議が始まる前に、各県の代表者会議が催されましたが、執行部への質疑、要望、批判などが相次ぎ活発な議論が始まりました。

山の過去の噴火の歴史、最近の御岳、桜島の噴火の説明、火山噴火の傾向と登山者の努力義務などについてお話がありました。分かりやすいためなる話でした。

その後、各県からの自然保護活動の報告がありました。各県とも活発な行事が催されており、清掃登山、自然観察会、水質検査、登山道整備、自然保護に関する講演会など様々な行事の報告がありました。残念ながら本県は自然観察会のみで、少し寂しい思いをいたしました。

その後、本会議が始まり基調講演として、「1888年の磐梯山の噴火とジオパーク」というテーマにて磐梯山噴火記念館資料館の佐藤氏より講演がありました。内容は磐梯

模様であるが、2日目の読図講習に基づき踏査競技を実施し大会を終了した。(佐橋秀男)

結果は以下の通りである。

男子	優勝	豊川A	2位
向陽	3位	桜台B	
女子	優勝	豊川	2位
桜台	3位	半田	

夕食後は交流会が開催され、福島の地酒、ワインを嗜

安心して選べる三河地区のプロショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL:0566(23)8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

ピギナーからエキスパートまで

Renopoint

<http://www.renopoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
 カジュアルユニフォーム&グッズ
 デザイン・企画・制作
 お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパ・チ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopint.jp

みながら、各県との交流を深めました。

12日は、朝食後にエキスカーションとして磐梯山登山と五色沼散策組に分かれまし。磐梯山は八方口からの登山で、眼下に猪苗代湖や会津盆地、五色沼、檜原湖を眺め、遠くには飯豊連峰、吾妻連峰の山並みを見ることができました。

全体の感想としては、各県からの出席者は個性が強く、熱心に自然保護活動を行っていると感じました。本県としても、他県の自然保護活動を参考にして、できることから一歩ずつ活動を進めたいと改めて感じました。

〔出席者〕 鈴木行薫、杉本三郎、磯野富士郎、相山みどり、横田よしえ

中高年安全登山指導者講習会(東部地区)

磁石や高度計・観天望気の実習
研究協議「気象遭難を防ぐ」

中高年安全登山指導者講習会「東部地区」が、9月11日から13日に東京都王子市「高尾の森わくわくビレッジ」明治の森高尾公園高尾山に於いて開催された。

24都道府県から62名が参加し1日目は講義1「中高年登山の課題について」講義2「気象遭難の事例と遭難を防ぐために」講義3「登山における怪我と病气」が行われた。

2日目は、山頂で観天望気や磁石と高度計を用いてナビゲーションの実習、それに搬送の実習を高尾山付近の稜線で行った。

3日目は、講習4「奥多摩

における遭難の実態」と研究協議「気象遭難を防ぐには」を班別に行って発表した。

最後は閉講式で挨拶の後、参加者に修了証が授与され終了した。

講習会に参加して

遭難事故防止の対応など

やまびこ山想会

宮森 千治

講習会に参加して感じた事は、テーマの安全登山を如何にして行うか?改めて考えさせられた事と参考になった講義ばかりでした。

印象に残った私の登山

4

アンデスの氷壁に挑む

中京山岳会

浜田 勝信

今から50年ほど前、私が中京山岳会に入会した頃は登山ブームで国内の未踏ルートの登山や、海外の山に夢をいだいていました。

ヒマラヤ登山が禁止されていた頃で、長野県山岳協会と交流していた愛知県山岳連盟より、補強隊員として、南米ペルーアンデス遠征隊に参加し、ペルーアンデスの未踏峰サンタクルス・ノルテ峰の氷壁を挑み、初登頂した山が印象に残った登山であります。

登山隊は、太平洋を二十五日間かけて、船で遠征し、外貨持ち出しが、一人五百ドルの時代、多くの支援や、協力をいただいた登山隊でありました。

ペルー・アンデスはワスカランを最高峰に六〇〇〇メートル級の山々が連なり、未踏峰も残され、懸垂氷河と紺碧の空、大草原の連なる山域で、ヒマラヤとは、異質の魅力を秘めていました。

サンタクルス・ノルテ峰(五八二九m)の西壁は、アンデス特有の気候から、青く光る氷壁に覆われ、頂上直下の二つの茸雪、登攀ルートは四〇〇メートルの氷壁から稜線に登路を挑み、稜線でのピバークをしてアタック、初登頂に成功した。

当時の登攀は、「不可能を可能にした類のない立派な記録でアンデス登攀史の中でも白眉である」と評されました。

登山隊に参加し、氷壁に挑み、成功したこと、長野県山岳協会の諸兄と今も交流を深めていることは、私の登山人生に今も生かされていると確信いたしております。



CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎0532-26-3737

MONTANA

住所:愛知県豊橋市関屋町138番地



住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

うなぎ錦三丁目 い ぼ しょう
心む昇

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日